

ニシカワ ノブヒロ

西川 信廣

文化学部・教授  
学術修士／大阪大学

主な研究業績

●西川信廣著「習熟度別指導・小中一貫教育の理念と実践」2006年、ナカニシヤ出版

●西川信廣・長瀬美子編著「学生のための教育学」2010年、ナカニシヤ出版

●西川信廣・牛瀧文宏共著「小中一貫(連携)教育の理論と方法」2011年、ナカニシヤ出版

詳しくは研究者データベース  
(<http://post.kyoto-su.ac.jp/s/w020/>)を参照のこと。

研究テーマ

# 小中一貫教育の理論と実践

概要

小中一貫教育は地方自治体のはやり言葉の感すらある。しかし、その本質が理解されていないため「(児童生徒の)交流に始まり、イベントに終わる」小中一貫教育がほとんどである。西川は、小中一貫教育の第一義的な狙いを「小中9年間の教育課程の構造的な理解に基づく教師の指導力(授業力・生徒指導力)の向上」ととらえ、教師の指導力向上を狙いとする小中一貫教育を提唱してきた。現在では、京都府、京都市、東大阪市、寝屋川市、枚方市、豊中市、池田市、吹田市と研究協力体制を構築し、地方政府の現状を踏まえながら、義務教育学校の質的向上のための施策の具体化を研究している。